

プリウス モデリスタ バージョン

フロントスポイラー 取付要領書

設定型式:ZVW5#

設定グレード:除くEグレード、フォグランプ非搭載車


このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なってください。

取り付け上の注意事項

- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様に配慮してください。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なってください。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意してください。
- (重要) ■取付作業は、補機バッテリーのマイナス端子を外してから行ってください。また、マイナス端子がプラス端子と接触しないようにしてください。
作業終了後は、各システムの設定・確認を行ってください。
- 商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施してください。
- 本製品の取り付けは、2名で作業を行なってください。
- エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂してください。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- フロントスポイラーを取り付ける部品の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取ってください。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。
(PACプライマーK500を本品に添付)
- (重要) プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
- (重要) ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なってください。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了してください。
- 両面テープのプライマーは、特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- (重要) ■両面テープの圧着を十分に行ってください。500kPa (5kgf/cm²) 以上
- (重要) ■ハーネスの取り廻しには十分注意をしてください。誤った配線をしますと故障の原因となります。
必ず本書の指示通りに行なってください。
- ハーネスを引っ張ったり、挟んだりしないでください。発熱や断線の原因となります。

取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両に確実に貼り付けされているか点検してください。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検してください。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意してください。
(両面テープの剥がれ、車両とフロントスポイラーとの間に隙間が発生する恐れがあります。)

 アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

① (材質: PPE)



② (材質: PPE)



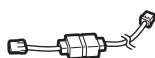
③



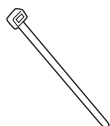
④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



型紙

No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	スペーサー別ピース RH	1
③	スペーサー別ピース LH	1
④	電源ハーネスA	1
⑤	電源ハーネスB	1
⑥	結束バンド	10
⑦	タッピングビス	4
⑧	スピードナット	4
⑨	PACプライマー-K500	1
⑩	取付説明書	1
⑪	型紙	1

※⑥結束バンドは1本予備を含む

取付概要

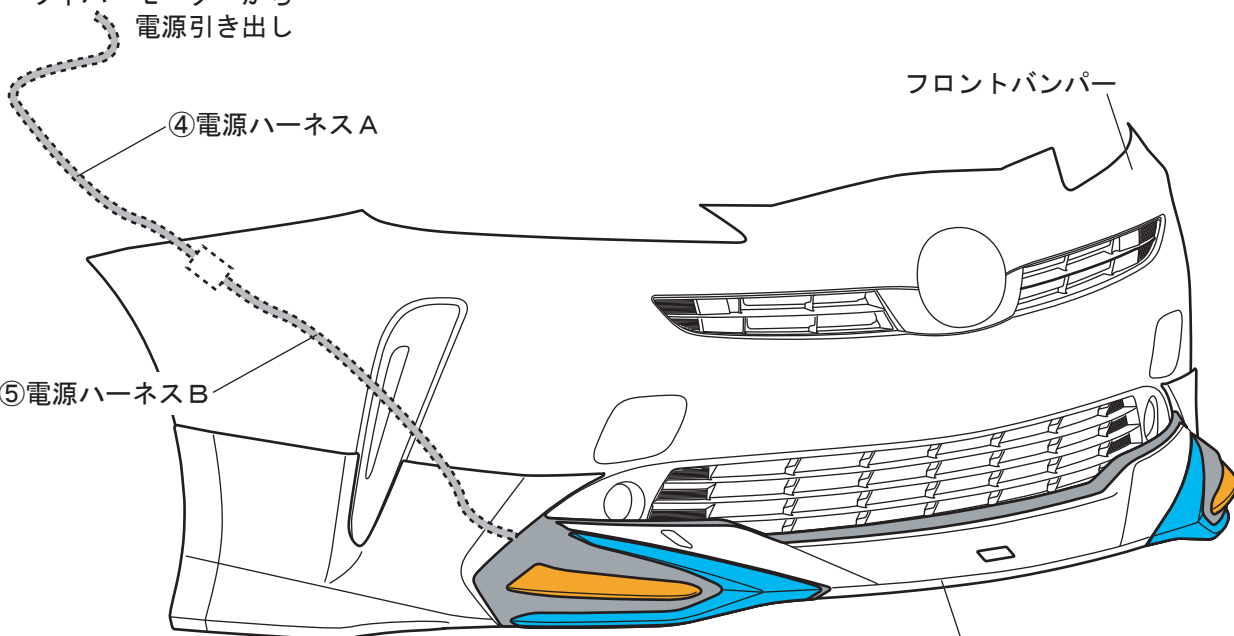
ワイパーモーターから
電源引き出し

フロントバンパー

④電源ハーネスA

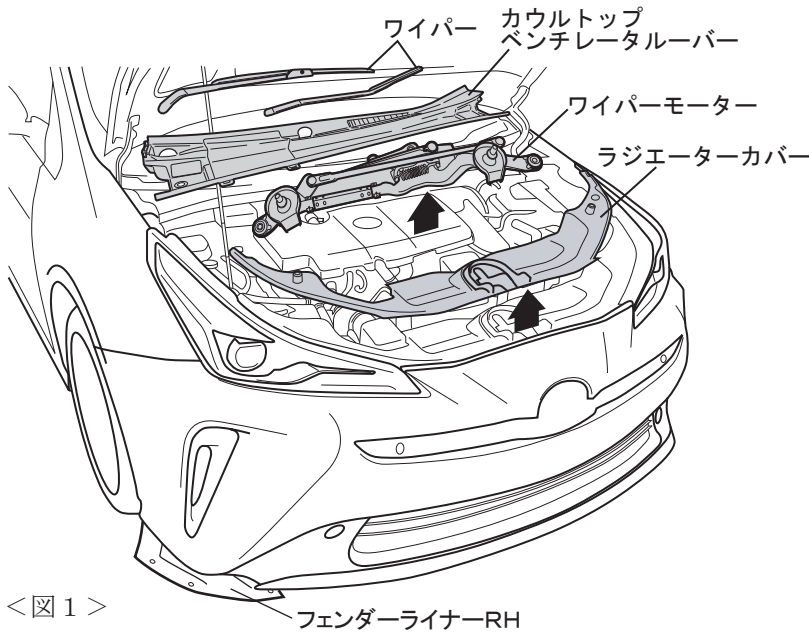
⑤電源ハーネスB

①フロントスポイラー

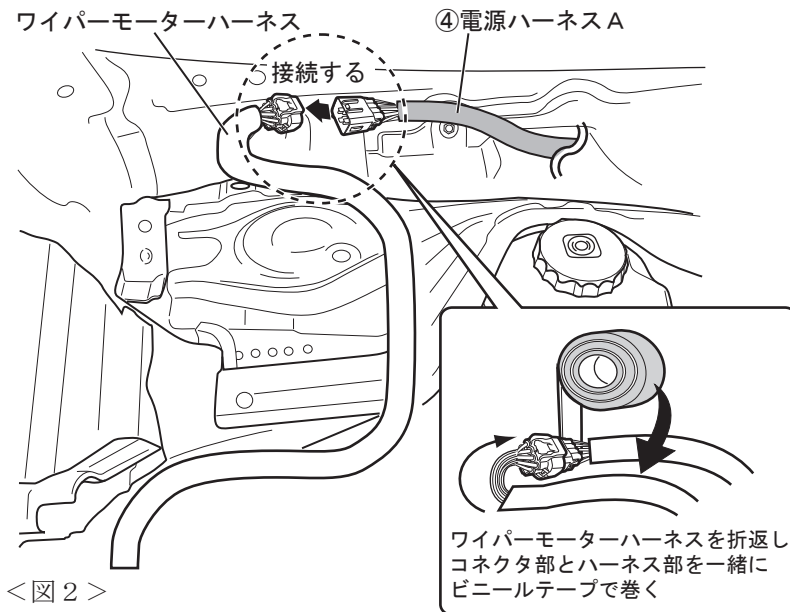


取付手順

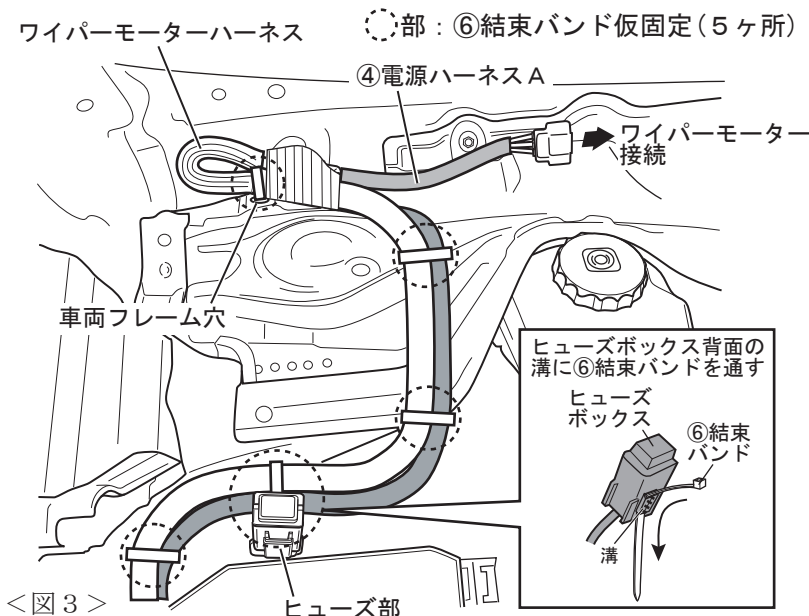
I. 電源ハーネスの取り廻し



<図1>



<図2>



<図3>

1. 補機バッテリーの(-)端子を外す。

アドバイス

- ・(-)端子が(+)端子に接触しない様にしてください。

2. フェンダーライナーRHの下面の車両ビス×3と車両クリップ×1を取り外し下側にずらす。(図1参照)

3. ワイパー・カウルトップベンチレーターバー・ワイパーモーター・ラジエーターカバーを取り外す。(図1参照)

アドバイス

- ・車両部品を取り外す際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照してください。

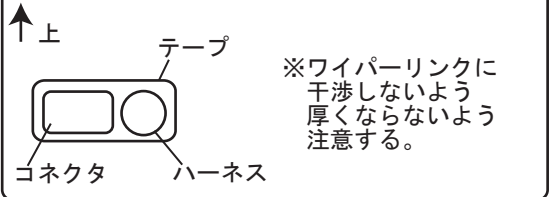
アドバイス

- ・取り外した車両ビス・クリップは再使用しますので、紛失しない様にご注意ください。

4. ④電源ハーネスAを、車両側のワイパーモーターハーネス5Pコネクタに接続する。(図2参照)

5. ワイパーモーターハーネスを折り返し接続したコネクタ部分とビニールテープで巻く。(図2参照)

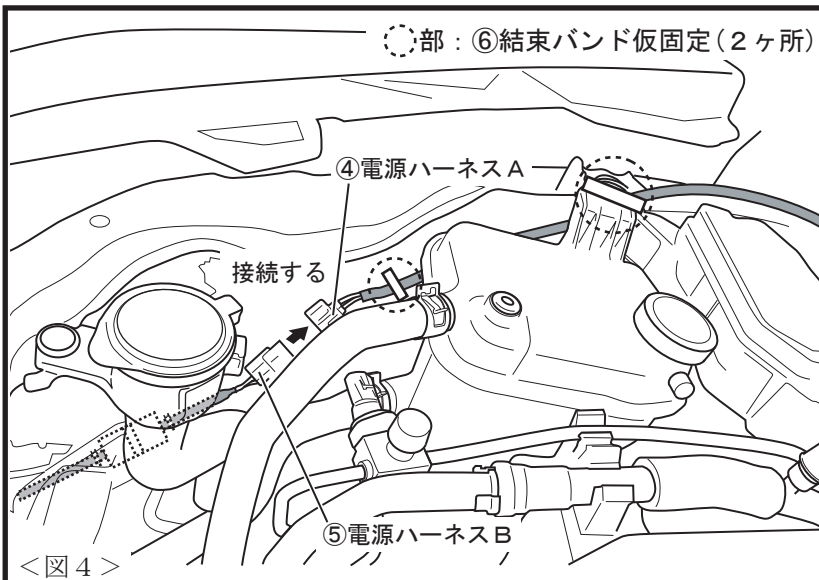
テープ巻き断面



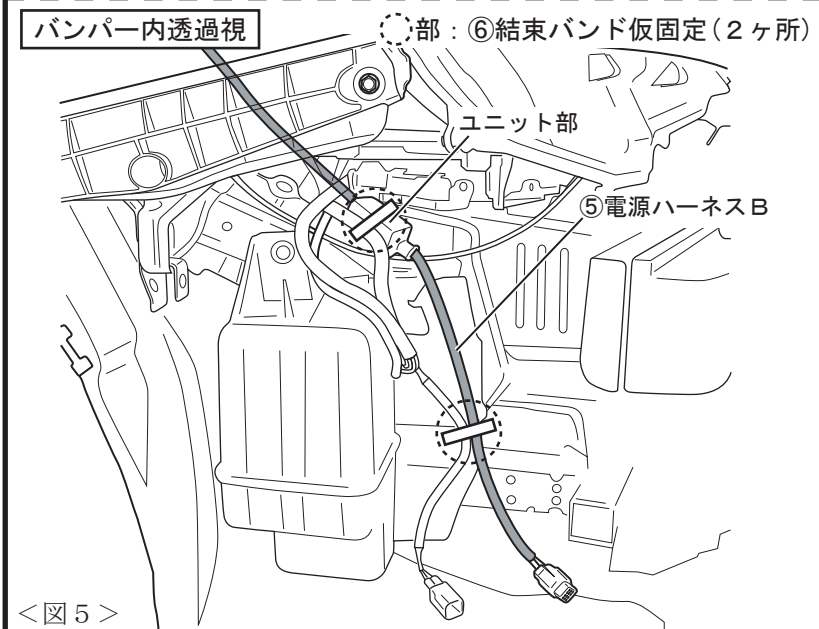
6. ワイパーモーターハーネスを⑥結束バンドを使用して、車両フレーム穴に仮固定する。(図3参照)

7. ④電源ハーネスAとヒューズ部を図3の要領で配策し、⑥結束バンドを使用して車両ハーネスに仮固定する。(図3参照)

8. ④電源ハーネスAをワイパーモーターに接続しワイパーモーターを元に戻す。



9. ④電源ハーネスAを図4の要領で配策し、⑤電源ハーネスBの2Pコネクタと接続し、⑥結束バンドを使用して車両ハーネスに仮固定する。



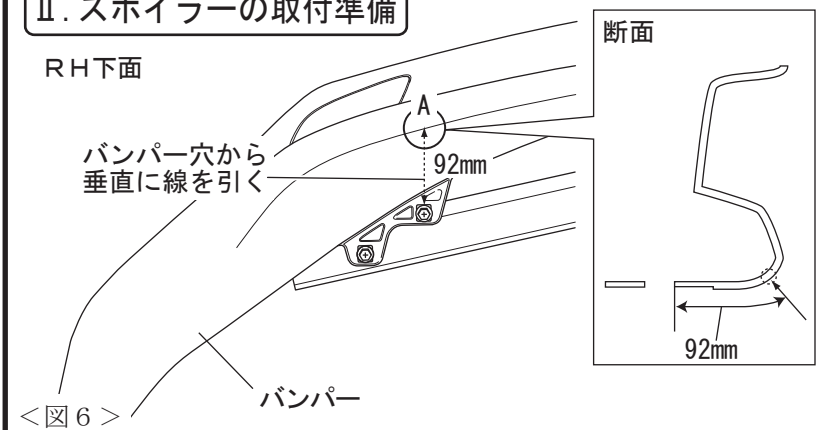
10. ⑤電源ハーネスBユニット部を図5の要領で⑥結束バンドを使用して車両ハーネスに仮固定する。

11. ⑤電源ハーネスBを図5の要領で⑥結束バンドを使用して車両ハーネスに仮固定する。

アドバイス

- 作業はフェンダーライナー開口部より行ってください。

II. スポイラーの取付準備



1. 図6の要領でバンパーの下面A部にホールソー等を使用しφ24で穴を開ける。
※穴を開ける際はあらかじめケガキ針や面鋸等で目印を付け、φ3などで下穴を開けてからφ24で本穴を開ける。

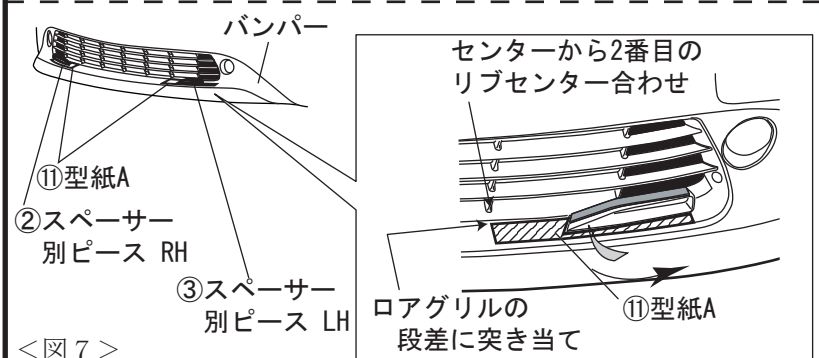
アドバイス

- 穴開け加工部はやすり等でバリを除去してください。

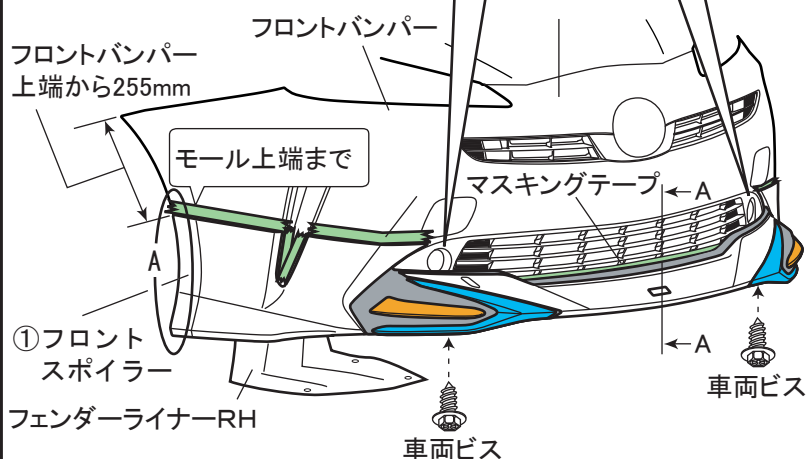
2. ⑪型紙Aを切り取り所定の位置に貼り付け、貼り付け位置がまっていることを確認したら⑨PACプライマーK500を塗布し、②③スペーサー別ピースの離形紙を剥がし取り付ける。②③スペーサー別ピースを取り付けたら⑪型紙Aを剥がす。(図7参照)

アドバイス

- PACプライマーK500は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- PACプライマーK500塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。



・取り付けの際フォグランプ付近が傷つかないように注意してください



3. フェンダーライナーLHを固定している車両ビスを外した後、①フロントスポイラーを図8の要領で仮当てし、①フロントスポイラーの金属ブラケットを車両ビスで仮止めする。
4. ①フロントスポイラーの取付け穴に合わせて⑧スピードナットを奥までバンパーに差し込む。(図8参照)
5. ⑧スピードナットの位置に⑦タッピングビスを挿し、仮止めする。

アドバイス

- ・⑧スピードナットが動く場合はプライヤー等で軽く締め付けてから差し込んでください。
- ・穴を開ける際はあらかじめケガキ針や画鋏等で目印を付け、φ3などで下穴を開けてからφ5で穴を開けてください。

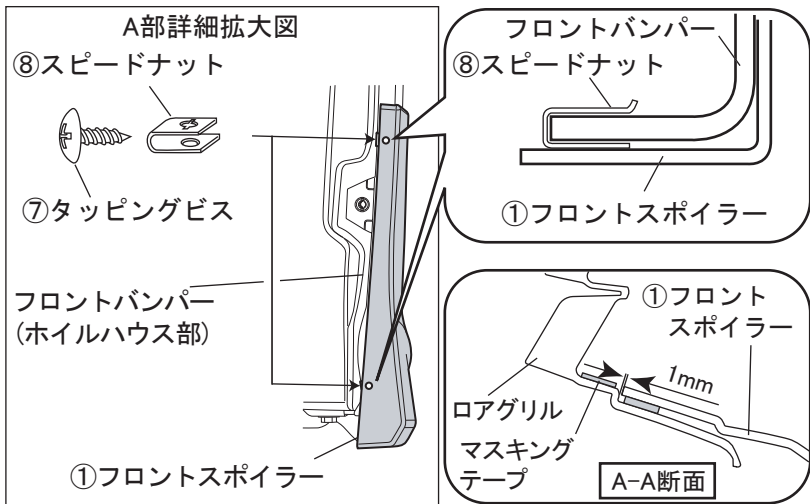
6. マスキングテープを①フロントスポイラーのエンドモール上端に合わせて貼り付ける。(図8参照)

7. ①フロントスポイラーを取り外す。

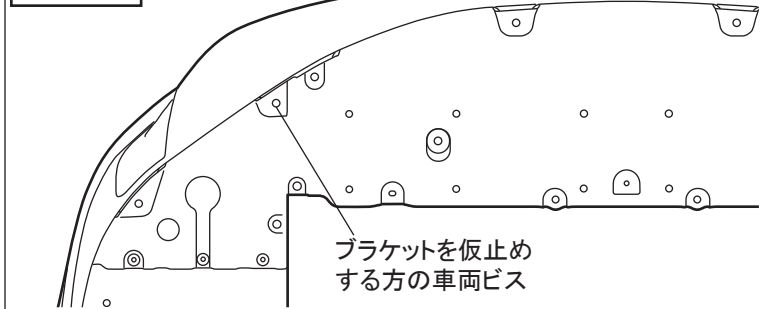
8. 両面テープ貼付部(図9斜線部)を脱脂し、⑨PACプライマー-K500を塗布する。

アドバイス

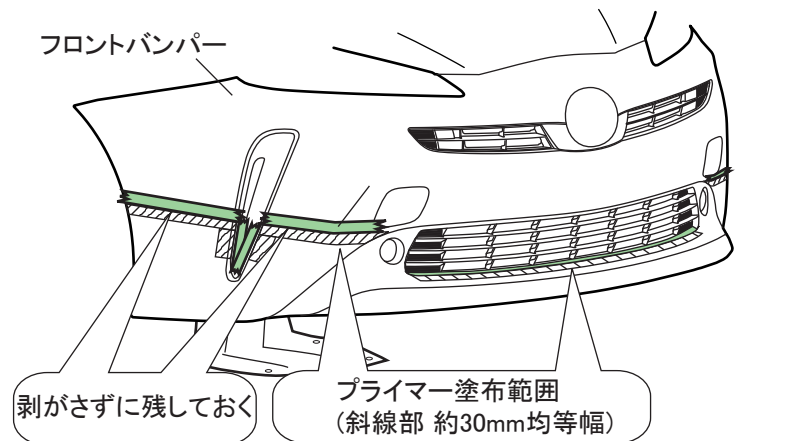
- ・PACプライマー-K500は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・PACプライマー-K500塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。



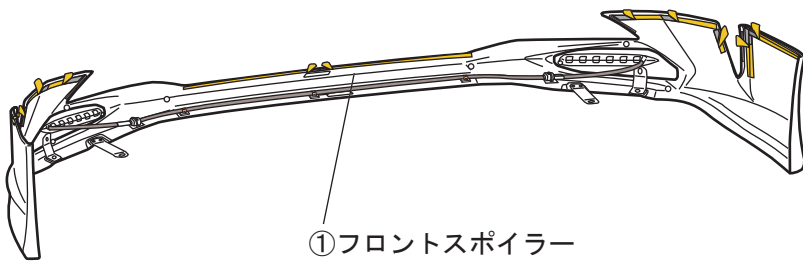
RH下面視 ※LHも同様



<図8>



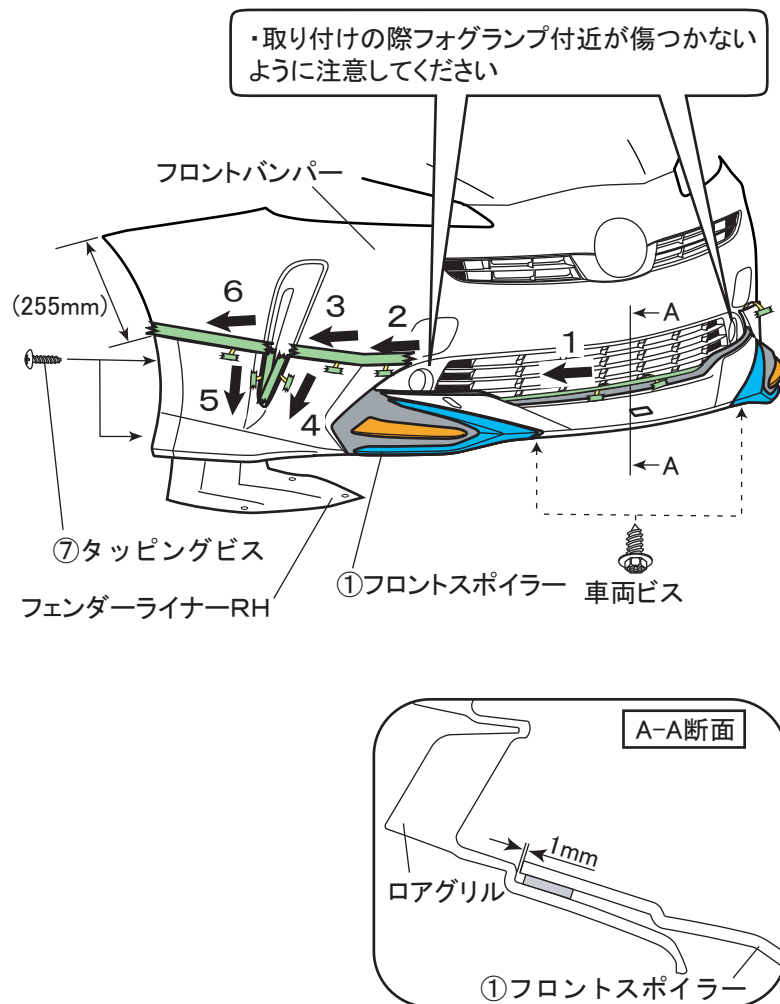
<図9>



<図10>

9. ①フロントスポイラーの両面テープの離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。(図10参照)

Ⅲ. 取付



<図11>

1. ①フロントスポイラーを、仮当て時と同様の手順で車両に仮組みする。(図11参照)

※仮組みする際に手順2で開けた穴に①フロントスポイラーのハーネスケーブルを通し、コネクタを接続する。
コネクタを接続する際は向きを確認し、ねじれたりしないようにして「カチッ」と音が鳴るまで差し込む。

👉 アドバイス

・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため。バンパーに着かない様に気を付けて作業してください。

2. 補機バッテリーの(-)端子を接続しイグニッションに連動してスポイラーの灯体が点灯することを確認する。
ワイパーを作動させて可動部とワイヤーハーネスが干渉しないことを確認して下さい。
3. 電源ハーネスA、Bの張り、干渉を確認してすべての⑥結束バンドを本締めする。
4. フェンダーライナーRHを復元する。
5. 車両ビスと⑦タッピングビスで仮止めする。(図11参照)
6. 両面テープ離型紙を1～6の順に引き抜きながら圧着する。(図11参照)

👉 アドバイス

・離型紙が途中で切れない様に、①フロントスポイラーを少し浮かせながら離型紙を引き抜いてください。

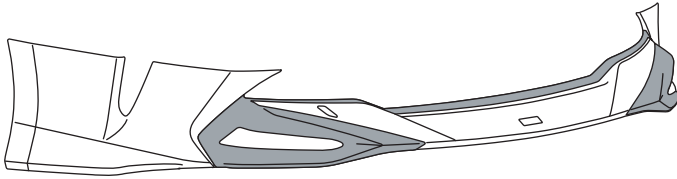
・両面テープの圧着は、500kPa(5kgf/cm²)程度の力で行なってください。

7. 取り外した車両部品をすべて元に戻す。
8. ①フロントスポイラーの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープ貼り付け後、3時間以上放置し再圧着する。
9. 仮締めしていた車両ビスと⑦タッピングビスを全て本締めをし、マスキングテープを剥がして取り付け作業終了。

フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品

① (材質: PPE)



② (材質: PPE) ③



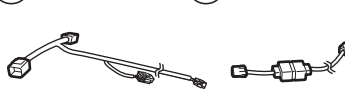
④ ⑤



⑥ (材質: PPE) ⑦



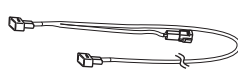
⑧ ⑨



⑩ ⑪



⑫



⑬



⑭



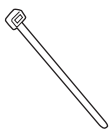
⑮



⑯



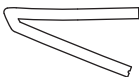
⑰



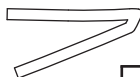
⑱



⑲



⑳



㉑



㉒



㉓



㉔



㉕



㉖



㉗



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	スペーサー別ピース RH	1
③	スペーサー別ピース LH	1
④	メッキ別ピース RH	1
⑤	メッキ別ピース LH	1
⑥	エーミングキャップ RH	1
⑦	エーミングキャップ LH	1
⑧	電源ハーネス A	1
⑨	電源ハーネス B	1
⑩	LED灯体ASSY RH	1
⑪	LED灯体ASSY LH	1
⑫	LEDハーネス	1
⑬	エンブレム	1
⑭	プッシュナット	8
⑮	ブラケット	2
⑯	プッシュプルクリップ	2
⑰	結束バンド	10
⑱	タイラップ	2
⑲	抜きマスキングテープ RH	1
⑳	抜きマスキングテープ LH	1
㉑	エンドモールA	ライトグレー:1 ブラック:1
㉒	エンドモールB	ブラック:1
㉓	タッピングビス	4
㉔	スピードナット	4
㉕	PACプライマー-K500	2
㉖	取付説明書	1
㉗	型紙	1

㉑)エンドモール推奨使用色

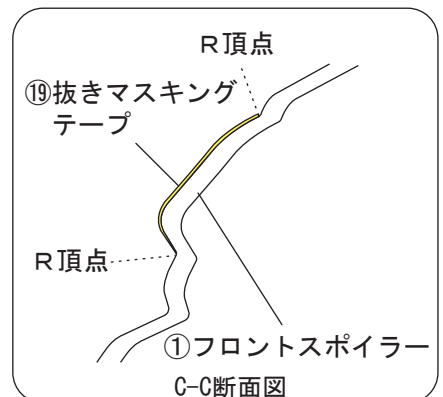
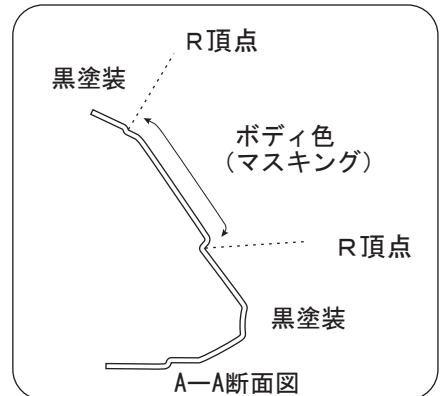
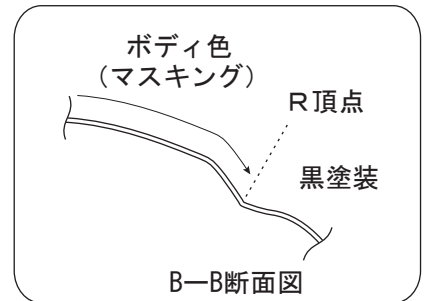
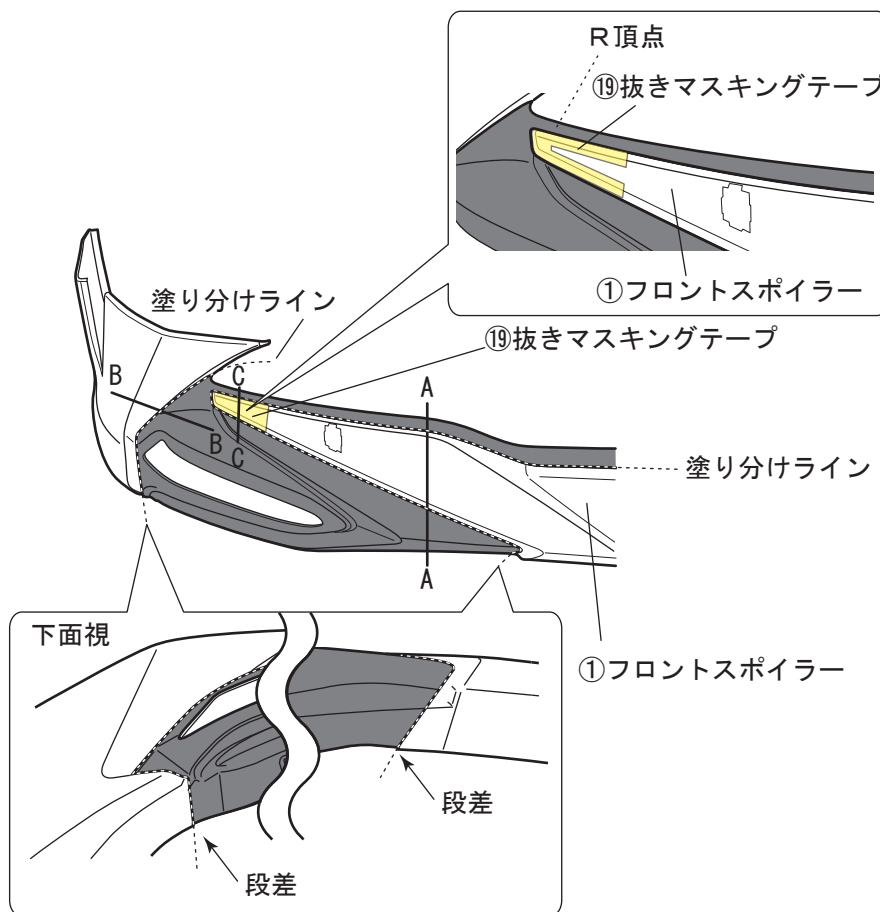
色番号	色名称	モール色
040	スーパーホワイトII	ライトグレ
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレ
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
1G3	グレーメタリック	ブラック
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
219	プレシャスブラックパール	ブラック
221	ブラッキッシュアゲハガラスフレーク	ブラック
3T7	エモーショナルレッド	ブラック
3U5	エモーショナルレッドII	ブラック
4X1	スチールブロンドメタリック	グレー
6W7	サーモテクトライムグリーン	グレー
8W7	ダークブルーマイカ	ブラック
8X7	ブルーメタリック	ブラック

フロントスポイラー、エーミングキャップの塗装

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープを全面マスキングする。
3. 上塗り塗装を行う。
※上塗り塗装にはウレタン系を使用してください。
4. 硬化
※硬化温度は、成形樹脂の特性上、必ず60℃以下で硬化させてください。

ツートン塗装

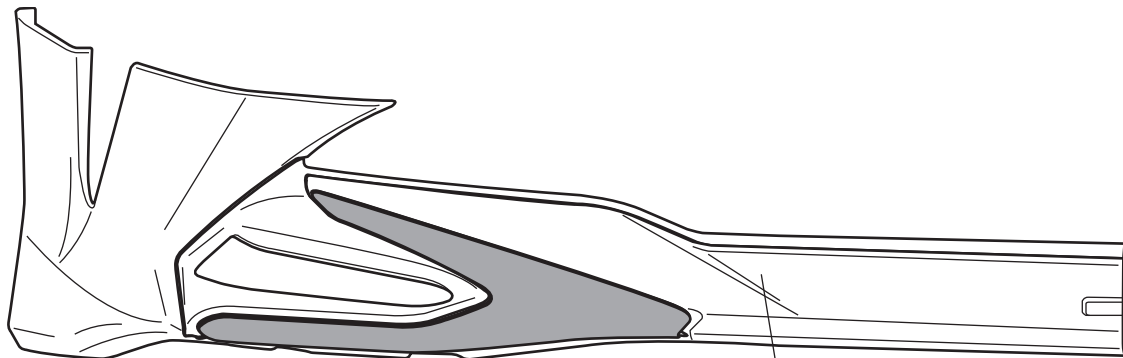
1. ボディ色塗装範囲をマスキングし、ブラック(202)、艶消し黒で塗装する。
- ※塗装する際、ボディ色がアティチュードブラックマイカ(218)、プレシヤスブラックパール(219)の場合は艶消し黒で塗装し、ボディ色がアティチュードブラックマイカ(218)、プレシヤスブラックパール(219)以外の場合はブラック(202)で塗装する。



メッキ別ピースの貼り付け作業

[RH図示] ※LHも同様に

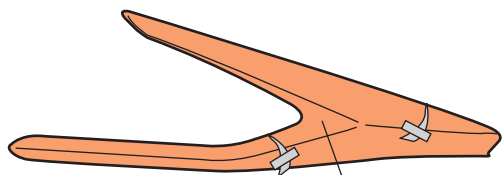
1. 塗装終了後、④メッキ別ピース RHを貼り付ける部分■を脱脂する。



①フロントスポイラー

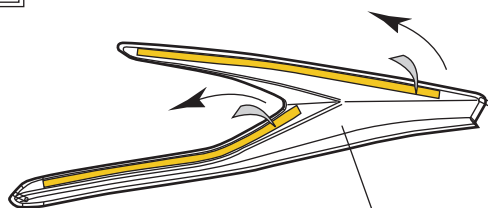
2. ④メッキ別ピース RHの両面テープ離型紙を一部剥がし、裏面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

[表面図]



④メッキ別ピース RH

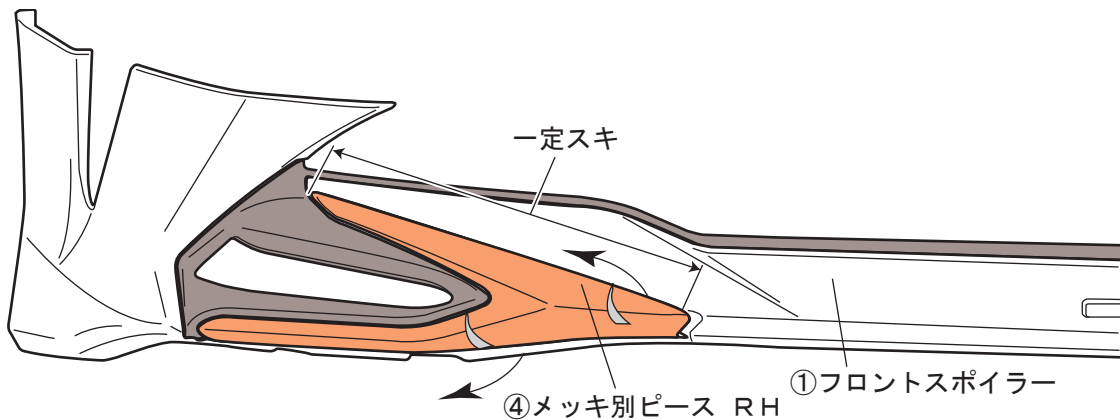
[裏面図]



④メッキ別ピース RH

3. ④メッキ別ピース RHのボスを①フロントスポイラーの真円からスロット穴の順に差し込む。

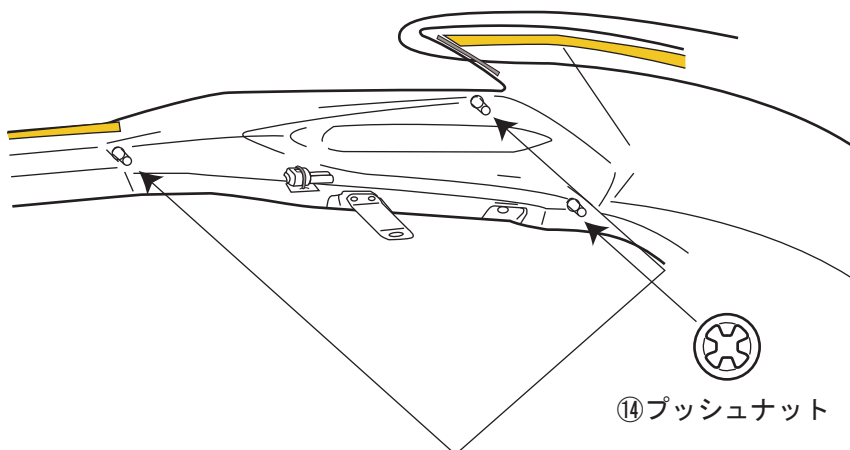
4. ①フロントスポイラーと④メッキ別ピース RHとが一定スキになるようにしながら、両面テープ離型紙を引き抜きながら外側に向けて圧着する。



④メッキ別ピース RH

①フロントスポイラー

5. ①フロントスポイラーと④別ピース RHの穴位置を合わせて⑭プッシュナットを奥まで差し込む。



⑭プッシュナット

⑭プッシュナット
※向きに注意

④メッキ別ピース RH
プッシュナット断面図

プライマーの塗布

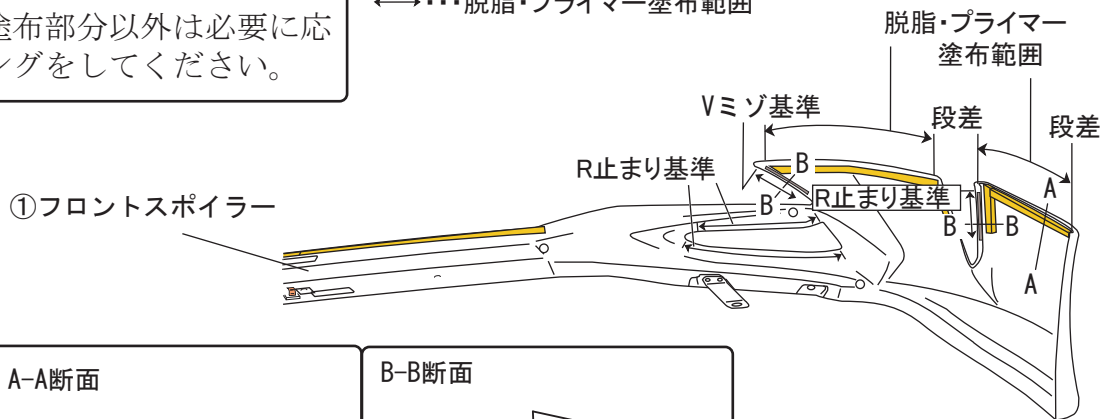
RH図示 ※LHも同様に

1. 塗装終了後、①フロントスポイラーの②①エンドモールA、②②エンドモールB貼付け部分、⑩⑩LED灯体ASSY RH、LH取り付け部分を脱脂し、⑤⑤PACプライマーK500を塗布する。

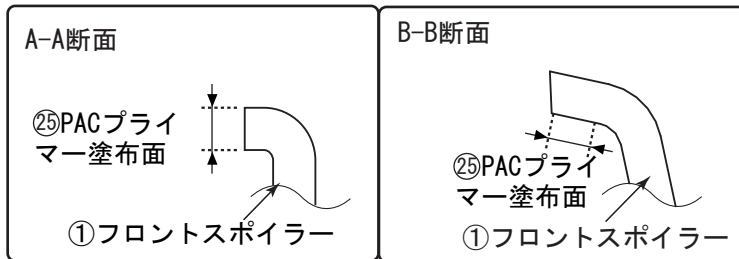
アドバイス

- ・プライマー塗布部分以外は必要に応じてマスキングをしてください。

←····脱脂・プライマー塗布範囲



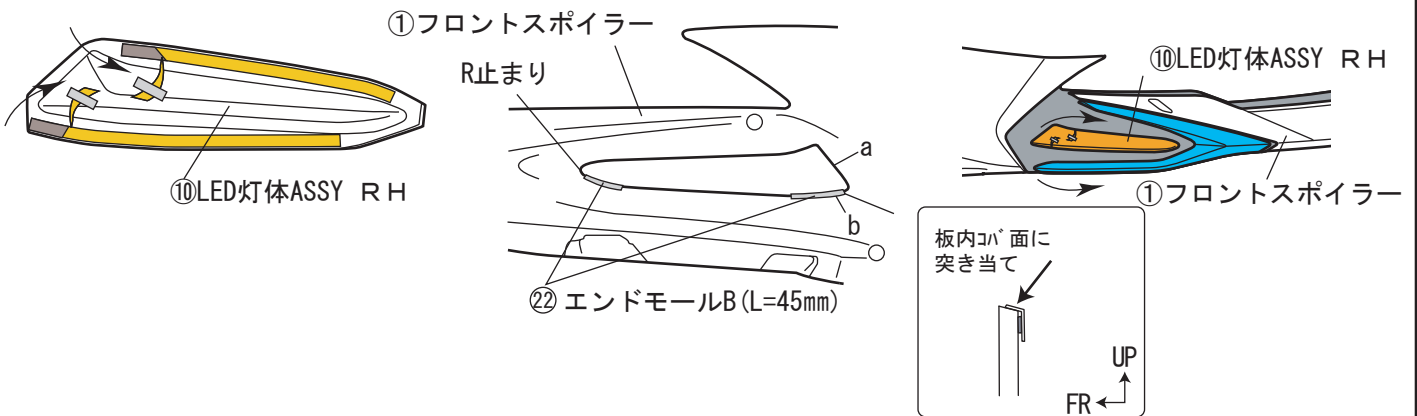
一般断面拡大



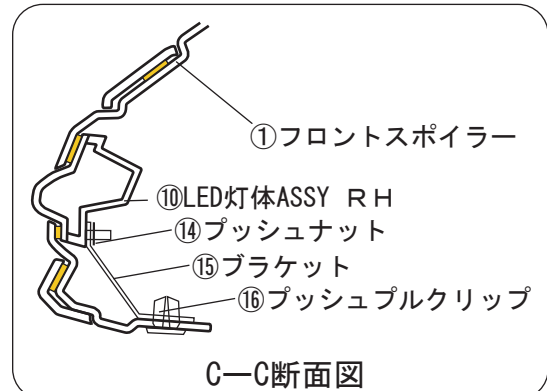
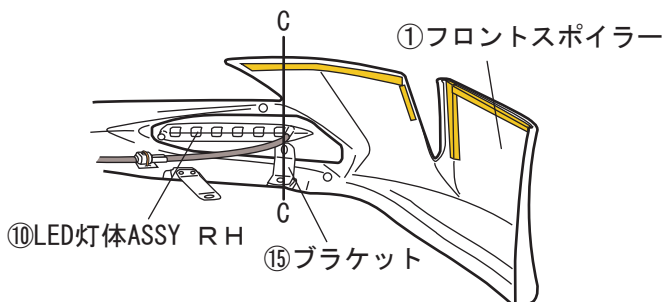
LED灯体ASSYの取付

RH図示 ※LHも同様に

1. ②②エンドモールBを45mmにカットする。
2. ⑩⑩LED灯体ASSY RHの両面テープ離型紙を一部剥がし、裏面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。
3. ⑩⑩LED灯体ASSY RH圧着部に、45mmにカットした②②エンドモールBを貼り付ける。
4. ①フロントスポイラーのa、b部に⑩⑩LED灯体ASSY RHを突き当てて仮当てし、両面テープ離型紙を引き抜きながら外側に向けて圧着する。

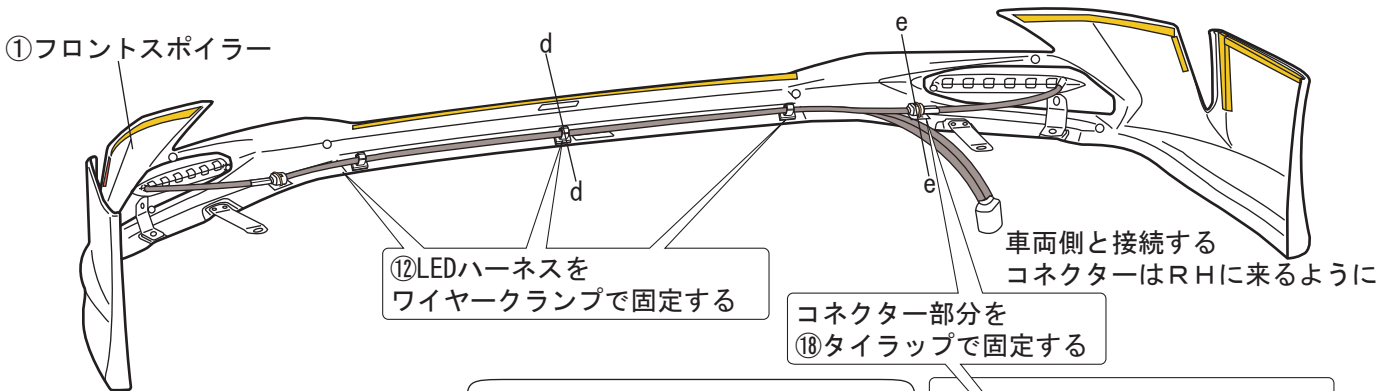


5. ⑩⑩LED灯体ASSY RHと⑮⑮ブラケットを⑭⑭プッシュナット、⑯⑯プッシュプルクリップを使用して固定する。

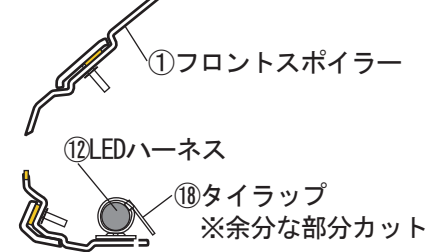


LEDユニットの配線

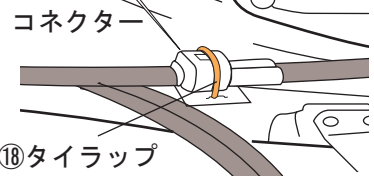
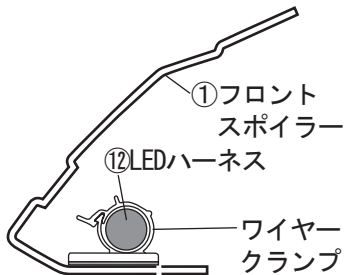
- ⑩⑪LED灯体ASSYのコネクターと⑫LEDハーネスに「カチッ！」と音が鳴るまでしっかりと奥まで差し込み接続する。(下図参照)
- ⑫LEDハーネスを下図の要領で配策し、⑬タイラップでワイヤークランプで⑫LEDハーネスがたるまないように固定する。



e-e断面



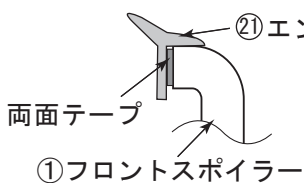
d-d断面



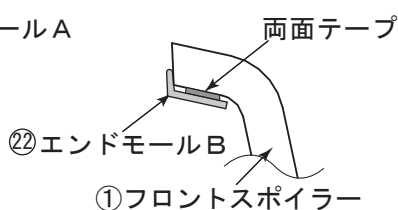
エンドモールの貼り付け作業

- 下図の要領でエンドモールを貼り付ける。

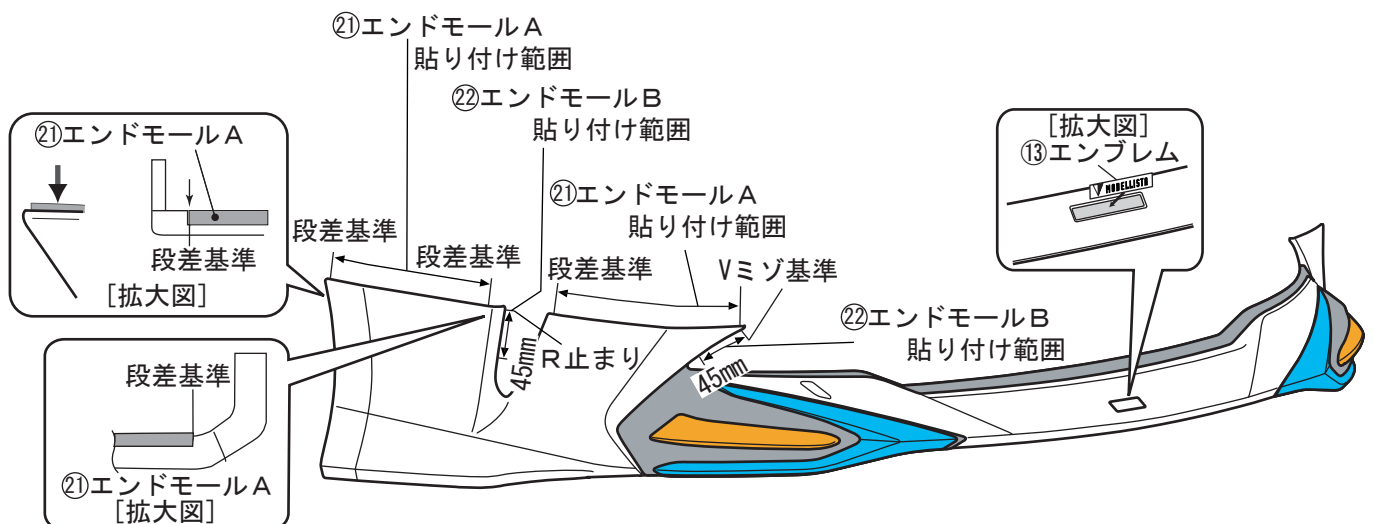
エンドモールA 断面拡大



エンドモールB 断面拡大

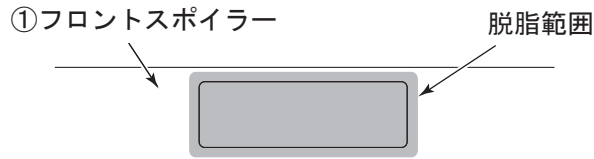


[RH図示] ※LHも同様に

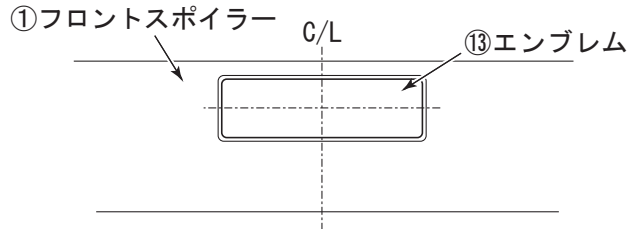


エンブレムプレートの貼り付け作業

1. ①フロントスポイラーセンター部にあるエンブレムプレート座面の■部を脱脂する。
(下図参照)



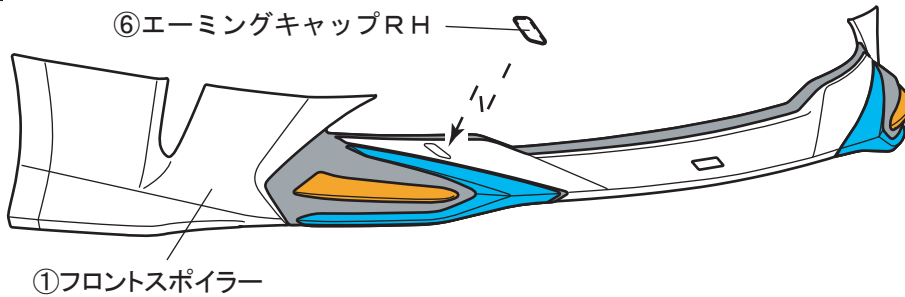
2. ⑬エンブレムを座面センター位置に貼り付ける。(下図参照)



エーミングキャップの組み付け作業

[RH図示] ※LHも同様に

⑥エーミングキャップRH



1. ⑥エーミングキャップRHの爪をはめ取付ける。

アドバイス

- ・エーミングキャップの爪は折れやすいので取扱いに気をつけてください。

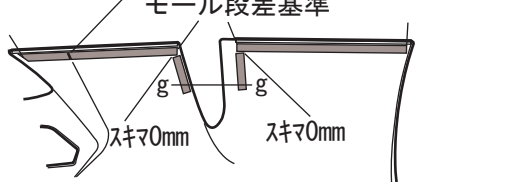
補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して①スポイラーの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。

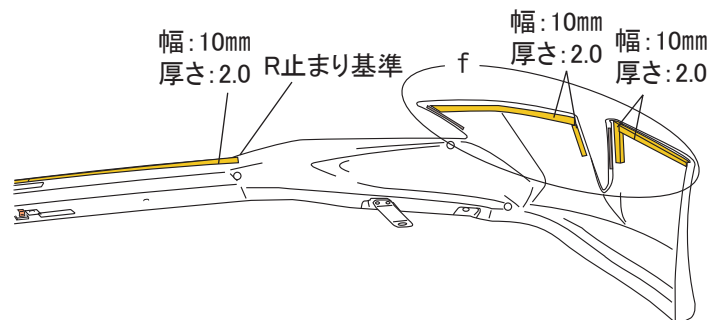
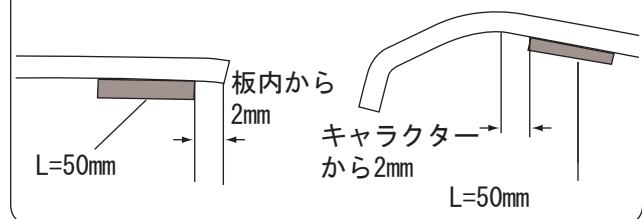
[RH図示] ※LHも同様に

f部貼り付け基準拡大図

形状に合わせて
リケイ紙カット
ナナメカット
キャラクター基準
板内から2mm



f部 (g-g) 貼り付け基準拡大図



両面テープ貼付基準

